

**JAPAN
BRAND**

弘前商工会議所



300年という年月の中で築きあげられた津軽塗

江戸初期の1704年、池田源太郎が江戸から「変わり塗り技法」を導入したことから、津軽独特の創造的技法へと発展を続け、江戸後期にその頂点に達した。

変わり塗り技法は、“塗っては研ぎ、研ぎは塗り”を繰り返すとても手間のかかる技法。

ただ漆を塗り重ねるだけではなく、職人の心をも塗り込めた津軽塗は、非常に耐久性がよく、重厚な美しさがある。

ものづくりへのこだわり

- ・自然界に存在する様々な形や、四季の彩りをテーマに工芸における用と美を兼ね備え、人々が感動してくれる作品を心掛けている。
- ・津軽の伝統の塗を生かしながら、水、光、自然をイメージ。
- ・漆を中心に素地には木、麻、和紙などの天然素材を使用。



無限に表現可能でオンリーワンという手板

現在、新作300種類以上開発済みであり、今後もバリエーションを段階的に増やしていく。塗模様のカテゴリーごとの整理をしながら、見本帳を整備する。

国際見本市におけるクリエイターとの出会いから新商品・販路開拓を行う。

今、見直されている職人の技

「津軽塗」業界において、若手の同じベクトルを持った職人グループが複数立ち上がり、それぞれ独自の活動が始動した。業界内において水平分業が行われるようになり、従来の職人世界では見られなかった、互いを認め合う風土ができつつある。

このことは、「津軽塗」業界だけではなく、他の工芸関係者(鍛冶・こぎん刺し・木工等)にも影響を与え、次は自分たちがステージにあがるという気概を持ち始めた。

世界・日本国内に向けて「津軽塗」の良さを普及

手板(塗模様サンプル)を、見本帳として展開し、世界中のデザイナーと共に形にしていく。生活全般に渡る総合的な価値としてのファッションを通して、日本独自、弘前独自の豊かな生活文化の提案を、漆・津軽塗・塗模様で具現化。

連絡先

弘前商工会議所

〒036-8567 青森県弘前市上鞆師町18-1

TEL:0172-33-4111(代表) FAX:0172-35-1877 Email: info@hcci.or.jp <http://www.hcci.or.jp/>